

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	5・6年 外国語科（6月授業初回時～11月現在） NEW HORIZON Elementary⑤⑥ English Course
⑥小中連携、その他	東京都足立区立亀田小学校 英語専科 畠山 芽倉

## 外国語の授業と学びを何度も振り返ろう！～オーダーシート作成とポートフォリオの活用～

昨年度末に起こった未曾有の事態で、外国語の授業も例年と変更せざるを得ない状況となりました。本校でも個別登校や分散登校から始まりましたが、授業内でも児童同士が教室内を歩いてインタビューしたり、友達とペアで向き合いやりとりしたりという、これまでのコミュニケーション活動に一部制限がある現状が続いています。またそれは、Small Talk も同様と言えます。話題から派生する児童のつぶやきや気付き、アイデア等、今までは当然クラス全員がその場で内容を共有することができていました。しかし今年度はそれがとても難しい。全員が安心できる学習材が必要でした。

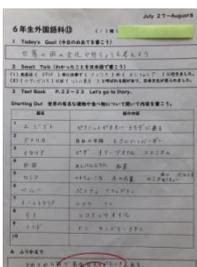
## 本時授業の流れを載せたオーダーシート作成とポートフォリオ化

「おすすめの色を紹介しよう」

そこで、毎時間のプリントを作成することにしました。昨年度までも学習プリントや振り返りカードは作っていましたが、毎時間というわけではなく、内容も一部のメインアクティビティのためのものでした。今年度は、「いつ」「どのような内容を」「どのように学んでいったか」をみんなで共有できるように、そして誰もが何度もいつかの授業のことを振り返られるように作っています。そのため、プリントは「本時の流れ」を載せたオーダーシートとし、板書と同様に活用できるようにしました。児童は毎時間、聞いたり話したり気付いたりしたことをメモしたり、時に英語表現を書き写したりします。授業の終わりには振り返りを記入して提出しますが、返却後は専用の英語ファイルに綴じていきます。



## 「・・・この前何だった？」で終わらせない、「知ってる!」「わかる!」ために



授業の導入から展開へとスムーズに流れるよう、Small Talk の内容は本時の活動に関わる話題を考え毎回取り組むようにしています。コミュニケーションが楽しい Small Talk、時に以前の内容へ話題がさかのぼることもあります。昨年度までは、話をしたことは覚えていても内容の記憶が曖昧で「えーっと・・・何だった？」で終わってしまうことがありました。それを今年度は、「ああ、それ知ってる!」「わかる!」という反応にしたい思いがありました。スムーズに本時の展開へ結び付けられるための

意味のある Small Talk だからです。一つの単元を通して、あるいは単元同士で使える内容にもなり得る Small Talk。楽しく話を聞いたり話したりした内容を、簡単にメモできるスペースも作っています。

小中連携研修等で区内中学校の先生方から、Listening 学習の一つとして「Dictation」と呼ばれる指導を実践していることを伺っていました。聞き取った英文を生徒が書き起こす学習方法です。いつでも何度でも繰り返し確認して言葉を引き出せるように、気付きをメモできるオーダーシート。その活用が、中学校での学びへスムーズにつながっていく一助になることも願っています。



### 指導助言・アドバイスコーナー

高学年外国語科の単位数は、年間 70 単位時間、週に換算すると 2 単位時間です。その単位数で、子供たちにどうやって学習内容を積み重ね、定着させるか。教え込み、「覚えてきなさい」のような指導ではなく、子供が気付き、自ら求めて学習するようにしたいものです。なぜなら、教え込まれるよりも、子供が自分で気付き、どうしたらうまく聞けるだろう、話せるだろうと子供が思考し、try and error を通して力を付けると、私たち教師は知っているからです。本実践では、そのために、ポートフォリオやメモをうまく使うことを提案しています。ポイントは、どんな場面で、何のために、どんな内容をメモさせるかです。また、単に聞き取りではなく、何のために聞くのかを設定することで、子供が何を聞けばよいのかを意識して聞くことも大切なことです。（文科省視学官 直山 木綿子）